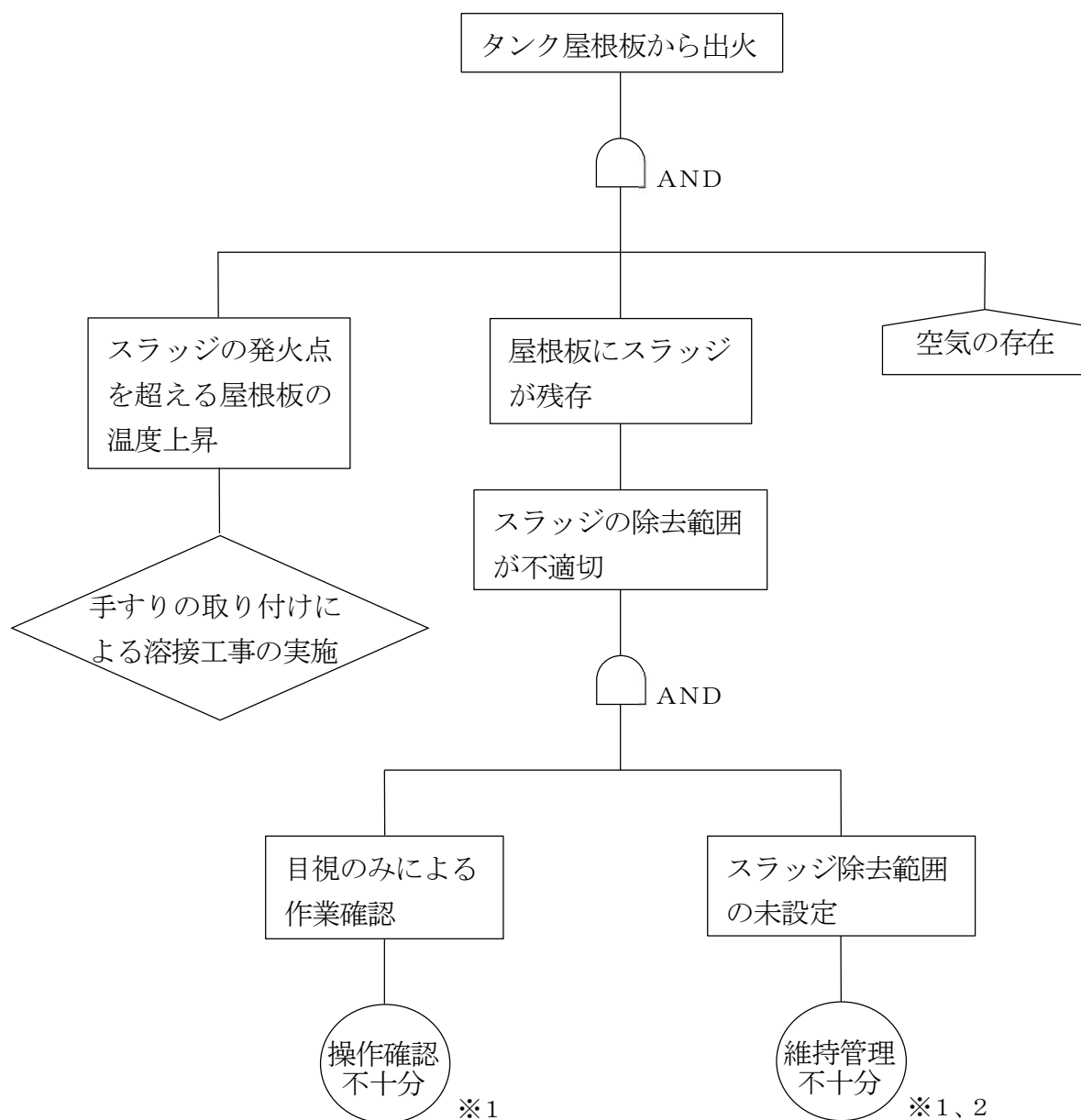


屋外タンク貯蔵所のタンク屋根板から出火した火災			
発生年月日	令和7年11月4日（火） 11時25分頃		
業 態	石油製品・石炭製品製造業	施設装置名	固定屋根式タンク
機 器 名	タンク	部 位	屋根板
運 転 状 況	停止中	作 業 状 態	改造工事中
物 質 名	HAR油	発 火 源	溶接熱
直 接 原 因	操作確認不十分	間 接 原 因	維持管理不十分
人的被害	なし	物的被害	HAR油残さ及びタンク内部壁面若干焼損
（事故形態） 検査のためタンクを開放 → 屋根手すり増設工事のため屋根内面のスラッジを除去 → 溶接作業の実施 → 屋根板内面の温度上昇 → 溶接熱影響範囲にスラッジが残存 ↓ タンク屋根板から出火			
被災・影響範囲	設備機器内		
（事故概要） 下請業者の作業員が開放中である屋外タンク貯蔵所屋根部分の手すりの溶接作業を10時30分頃から開始し、昼休憩に入ろうとしていた11時25分頃、当該タンクのセンターベント及び屋根マンホールから煙が上がっていることを発見した。			
（事故原因） 開放中である屋外タンク貯蔵所のタンク屋根上で、下請業者作業員が溶接による手すり増設作業をしていたところ、タンク屋根板外面の溶接熱が内面に伝わり、残存していたHAR油の油分を含む清掃残さが発火した。			
（再発防止対策） F T A図に記載のとおり			

F T A図



【再発防止対策】

※1 スラッジの除去範囲の設定

タンク屋根板内面側に油分を含むスラッジが付着しているケースにおいて、溶接作業を行う際は、溶接線から＋100mm離れた範囲をスラッジの除去範囲として設定する（目視のみならずメジャースケール、図面を用いて定量的に除去範囲を設定する）。

※2 手順書の改訂

今回設定したスラッジの除去範囲を手順書に反映し、事故の再発防止に努める。